



北米ホーリネス教団  
オレンジ郡  
キリスト教会  
「週報」

2015年の努力目標

1. 朝の15分の祈りを大切に。
2. 聖書日課に励もう
3. 祈り会に参加しよう
4. 聖書研究・家庭集会への参加
5. 礼拝欠席の時は牧師に連絡を。

◎集会案内◎

日曜 礼拝 : 9:30~10:45am  
 コヒー・アワー : 日曜日 10:45~11:15am  
 聖書の学び : 日曜日 11:15~12pm  
 みふみ会 : 水曜日 10am  
 定例祈禱会 : 水曜日 7:30pm  
 早天祈禱会 : 土曜日 7am  
 家庭集会 : 各地区に2箇所  
 牧師 : 杉村 幸 (日語部)  
 : 益田デーロ (英語部)  
 電話 : (714) 827-6244 (教会)  
 : (714) 527-1456 (牧師館)  
 E-Mail : sugimurai1950@gmail.com  
 教会ホームページ : www.occc.org  
 教会所在地 : 4872 Bishop St.  
 Cypress, CA 90630

石 叫 口

◎石叫■

「日本伝道旅行」③

そこから新幹線で熊本へ。そこには中国宣教の覇者、新川先生が待っている。黎子夫人が昨年末、ガンの再発で年を越せるかどうかという状況であったので、様子を伺うために早く訪問したいと願っていたのだが、この四月八日、天に凱旋していった。その痛みたるや、まだ癒えない時であろうに、二日後に僕が北九州に移動するその日に、中国の大連に向けて飛び立っていった。訪中の準備で多忙な中に押しかけたので、先生はてんでこ舞いの最中であつた。それにも拘わらず母教会の祈禱院でのセミナーや、市内の花岡山に連れて行ってくれた。その山はアメリカの宣教師L・ジェーンズによって信仰をもった学生たちが献身を誓った所で、日本プロテスタントの三大源流の一つ「熊本バンド」の名で知られている。かねがね訪れてみたいと思っていた地の一つである。そこには「奉教の碑」と呼ばれる記念碑が建っているが、近隣には金ピカの尖塔で白亜の仏舍利塔があつたり、大きな鳥居のある神社があつたりで、その陰は薄い。

その日、大連に向かう先生の車で熊本駅に連れて行ってもらつた。次の訪問先は安藤秀世先生の教会先、北九州の折尾市だ。昨年七月に愛知県春日井から赴任した。先生は駅まで迎えに来て下さり、五年前に新築されたという会堂に先ず連れて行って下さつた。まだ木の香りがする新会堂で、これまでの積もる話に花が咲く。「俺は日本で九十歳になるまで伝道する」と宣言しておられ、そのバイタリティに、吹き飛ばされそうだ。由美子夫人は多くの体の痛みを覚えながら、実に明るく元氣にして居られたのは僕の方で励まされた。それにしても明るい。先生の牧会の源泉はご夫人にあり、と実感させていただいた。

ピリピ書に「あなたがたは、主にあっていつも喜びなさい。繰り返して言うが、喜びなさい」(四・4)と獄中のパウロは命じる。この喜びが伝道の最高の武器だからだ。回りが厳しければ厳しいほど、一人の信仰者の喜びが光り輝く。

その日の夕食はアパートに隣接する寿司屋のカウンターで、珍味なる「のどぐろ」をいただいたのだが、その味よりも先生の懐具合が心配だった。かたや先生はこの他ご満悦であつた。そこに一泊して、次の訪問地、広島に向つた。

そこにはジョウイ君のご両親、加藤望先生が教会している広島福音教会がある。先生は旧約の言語であるヘブル語の専門家なので、近々出版される聖書の翻訳に取り掛かっておられた。先生は聖書学院では一年後輩であり、アメリカ留学中に肝臓移植している。今も定期的に医者通いで無理の効かない体である。

「オレンジ郡キリスト教会の歩み」

オレンジ郡キリスト教会は1977年に発足し、東洋宣教会・北米ホーリネス教団に所属するプロテスタント教会の一つです。北米ホーリネス教団は1921年に創立され、現在は日英両語合わせますと2000名を越える会員になります。

私たちの教会は18世紀に、英国で始まったジョンウエスレーによるメソジスト教会の流れを汲みます。そして他のプロテスタント教会同様、3世紀以来告白され続けてきた使徒信条を、私達の信仰告白と致します。

